



FireEye Helix

セキュリティ・オペレーションの主導権を取り戻す

メリット

可視性を強化

FireEyeとサードパーティのセキュリティ・ソリューション300種類以上を統合。国家レベルの脅威インテリジェンスやルール、解析によって、比類のない状況把握を可能にします。

迅速なインシデント対応と被害の最小化を実現

主要なセキュリティ機能の一元化とワークフローの自動化、セキュリティ最前線での経験に基づく付属のプレイブックにより、短時間でインシデントの解決を可能にします。

全体的な運用コストを削減

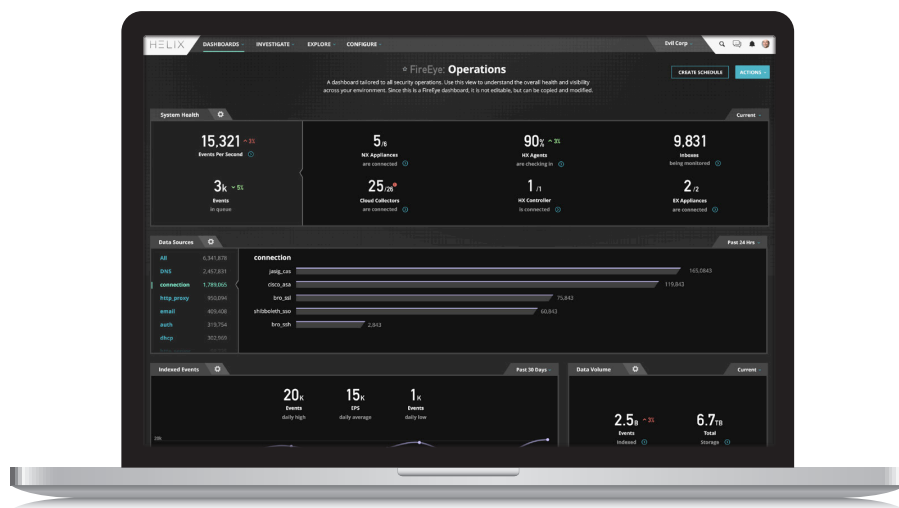
SOAR、SIEM、脅威インテリジェンス、セキュリティ・プロセスの連携に関する既存の費用を集約できます。

イントロダクション

サイバー・セキュリティは、かつてないほど困難な時代を迎えています。新たな脆弱性を突くセキュリティ脅威が毎日のように出現しており、防御側の組織では、セキュリティ製品や人材を追加投入する必要に迫られています。しかし、このような受け身の対策では、セキュリティ環境が複雑化するばかりです。その結果、見過ごした別の脆弱性を悪用される事態を招きかねません。この状況を打開するには、組織の規模にかかわらず、確固たる基盤に基づく総合的なアプローチでセキュリティ・オペレーションを実施する必要があります。この基盤の構築を可能にするのが、FireEye Helix（ヘリックス）です。

セキュリティ・オペレーション・プラットフォームのFireEye Helixは、環境の種類や規模を問わず、高度なセキュリティをシンプルに実現します。未知の脅威を可視化するとともに、セキュリティの最前線で得られた脅威インテリジェンスを通じて、セキュリティ担当者の意思決定を支援。その結果、セキュリティを主体的に管理し、既存のセキュリティ製品を有効活用することが可能になります。シームレスで拡張性に優れた基盤を提供するFireEye Helixは、FireEyeソリューションに加えてサードパーティのソリューションも統合、強化します。セキュリティの専門家が、セキュリティの専門家のために開発したFireEye Helixを活用すれば、アラート管理や検索、解析、調査、レポートなどの主要なセキュリティ関連業務を効率的に実施できます。

図1: 迅速な状況把握を可能にする機能的なインターフェース



FireEye Helixの機能



真の脅威を検知し、その活動を把握



コンテキスト情報を含む脅威インテリジェンス
での確かな判断



既存のセキュリティ製品を有効活用



脅威解析

データに潜む疑わしい行動パターンや異常な振る舞いを明らかにして検知機能をさらに強化し、調査プロセスに必要なコンテキスト情報を提供します。



調査を一元的に実施

インフラストラクチャ全体のすべてのソースからのアラートおよびイベント・データをインデックス化、アーカイブ、検索、解析し、作業の柔軟な移行と迅速な探索を可能にします。



コンプライアンスとレポート

ダッシュボードやウィジェット機能を使用し、カスタマイズすることにより、最も重要な情報を視覚的に集約、提示、探索します。



自動化

製品統合や最前線にいるFireEyeのセキュリティ担当者による体系的な対応のベスト・プラクティスにより、調査・対応プロセスを自動化および高速化します。



脅威インテリジェンス

セキュリティ脅威に関するFireEyeの最新インテリジェンスを通じて検知・強化・探索・把握を支援します。



ワークフロー管理

自動化および手動のワークフローを通じて調査プロセスのステップを整理して割り当て、連携させて実施します。



FireEye Helixプラットフォーム の入手方法

FireEye Helixは、各種FireEyeのサブスクリプション型ソリューションに付属します。FireEyeのすべてのテクノロジーと連携して動作するほか、導入済みの他社製のセキュリティ製品と統合できます。組織が拡大または変化した場合には、システムを停止することなく、FireEyeソリューションの設定変更や追加、アップグレードを実施できます。

FireEyeの詳細については、www.FireEye.jpをご覧ください。

ファイア・アイ株式会社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-22 テラススクエア8階 |
03-4577-4401 |
Japan@fireeye.com

© 2018 FireEye, Inc. All rights reserved. FireEyeはFireEye, Inc.の登録商標です。本資料のその他のブランド名、製品またはサービス名はそれぞれその所有者の商標またはサービスマークとして登録されている場合があります。
DS.HELIX.JA-JP-032018

会社概要

FireEyeは、インテリジェンス主導型のセキュリティ企業です。顧客企業は、FireEyeの革新的セキュリティ技術、国家レベルの脅威インテリジェンス、世界的に著名なMandiant®コンサルティングの知見が統合された単一プラットフォームを、自社のセキュリティ対策の一部としてシームレスに組み込むことができます。このアプローチにより、FireEyeは準備、防御、インシデントレスポンスといった、組織がサイバー攻撃対策をするうえでの課題となっていた複雑性や負担を解消します。FireEyeは「Forbes Global 2000」企業の45%以上を含む、世界67か国以上の6,600を超える組織で利用されています。

